

③ 作曲指揮専攻

作曲「芸術音楽コース」

入学試験科目

1. 外国語

【一般選抜(A日程)】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語・60分）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は「①一般選抜概要」を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®
- ・TOEIC®(L&R/S&W)
- ・TOEIC Bridge®(L&R/S&W)

【一般選抜(B日程)】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

2. 楽典(50分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

4. 聴音(30分) 旋律聴音(8小節程度)・・・各専攻共通1題および専攻別1題 和声聴音・・・大譜表による四声体和声(密集)、8小節程度



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

5. 副科実技(ピアノ)

※すべて暗譜で演奏すること

- (1) 音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。
ハノン No. 39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノン No. 39 の場合は、速度は♩=76 程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72 程度以上とする。
- (2) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
- (3) 自由曲1曲（自作品は不可）
※(2)(3)計2曲で10分以内とする。作品番号、調性、楽章なども記入すること。

6. 専攻実技

- (1) 和 声 (イ) 転調および非和声音を含むバス課題 (2 時間)
(ロ) 転調および非和声音を含むソプラノ課題 (2 時間)
- (2) 作 曲 与えられた動機による楽曲の創作 (5 時間)
- (3) 面 接 10 分程度 (作曲を志した動機等について質問します)

作曲「ミュージック・メディアコース」

※一般選抜 (B 日程) では、募集しません。

入学試験科目

1. 外国語

以下より 1 つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語 (英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より 1 科目
選択。「英語」 は筆記とリスニングの双方を課す)
- (2) 本学が行う試験 (英語・60 分)
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は「①一般選抜概要」を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC (アセスメント版を除く)
- ・IELTS (Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®
- ・TOEIC® (L&R/S&W)
- ・TOEIC Bridge® (L&R/S&W)

2. 楽 典 (50 分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

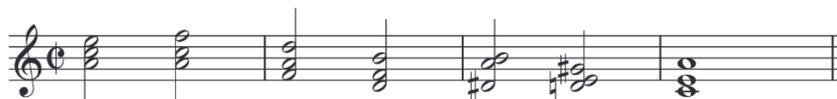
3. 新曲視唱 8 小節程度の旋律を 1 曲

別室で 1-2 分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

- 4. 聴 音 (30 分) 旋律聴音 (8 小節程度) 各専攻共通 1 題および専攻別 1 題
和音聴音 高音部譜表による三和音、4 小節程度

[問題例] a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4 小節



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

5. 専攻課題

(1) 伴奏付け：譜面作成とそのピアノ演奏（1時間）

- ① 与えられた旋律に対して「伴奏／コード付け」を行う。
（譜面作成時、備え付けのキーボード使用可）
- ② ①で「伴奏／コード付け」した結果を、面接時にピアノで演奏する。

(2) 和声（2時間）

- ① 転調を含むバス課題。
- ② 簡単な転調および非和声音を含むソプラノ課題。
※①バス課題から着手のこと。試験開始後1時間で①の答案を回収する。

(3) 小論文（1時間）

当日出題される課題について、簡単な文章を書く。

(4) 面接とプレゼンテーション

①面接

作曲に対する意識、今後、作曲家となるべく努力する姿勢、意識を問う。また特別な音楽的能力を有する者は、面接でアピールすることができる。（注1参照のこと）

②ピアノ演奏

自由曲または自作曲のピアノ演奏。楽曲の選択は、クラシック、ポピュラー等ジャンルを問わない（ピアノ独奏のみ。伴奏用音源等は使用不可）。（注2参照のこと）

③伴奏付け（専攻課題(1)）の実演

専攻課題(1)伴奏付けにおいて与えられた旋律に対して行った「伴奏／コード付け」をピアノで演奏する。

④自作曲の評価

自作曲のデモ音源、楽譜（スコア等）を持参し、面接時にアピールすること（注3参照のこと）

注1 面接について

アピールしたい受験者は、楽器演奏や音楽制作に携わった作品の映像（動画ファイル）を面接時に提出すること（ライブ、コンサート等の映像も可とする）。

複数曲の提出を可とするが、各映像の長さは5分未満とする。

また、映像内で受験者本人を確認（本人の姿やクレジット表記）できるものとする。動画ファイルの拡張子はmov または mp4 のいずれかとし、USBメモリに保存して面接当日に持参すること。

《当日の楽器演奏を希望する場合》

ギター、ベース、ヴァイオリン、フルート等の楽器演奏を面接時に希望する場合は、楽器を持参すること。ギターアンプ、ベースアンプは備え付けのものを使用する。

演奏を希望する楽器名、楽曲名は曲目記入票に記入すること。

電子オルガン等、複数人での移動を必要とする大型楽器の持込みは不可とする。

その場合は動画ファイルを提出しアピールすること。

注2 ピアノ演奏について

①基本的なピアノ演奏能力を知ることが目的であるため、注意して楽曲を選ぶこと。

曲名、作曲者名は、専攻別曲目記入票に詳しく正確に記入すること。

②自作曲のピアノ演奏を行う場合は、(4)④の自作曲の評価で提出する曲とは異なる作品にすること。

注3 自作曲について

複数曲可。ただし、各曲の長さは5分未満とする。楽曲のスタイルやジャンルは自由だが、デモ音源は試聴するための十分な状態を満たすこと。

《デモ音源、楽譜の提出について》

①デモ音源は、オーディオファイルで用意すること。オーディオファイルの拡張子はwav、aif、mp3のいずれかとし、USBメモリに保存して面接当日に持参すること。また複数曲の場合は、試聴する順に番号をファイル名の先頭に入れること。

（例：01_song.wav）

②楽譜（スコア等）を4部面接時に持参すること。簡易でもよいので製本をすること。視聴後、楽曲の部分的な演奏を指示する場合がある。その場合、基本的に使用する楽器はピアノとする。

指 揮

※一般選抜（B日程）では、募集しません。

入学試験科目

1. 外国語

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語・60分）
- (3) 資格試験※

※以下のいずれかの資格を利用できる

詳細は「①一般選抜概要」を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®
- ・TOEIC®(L&R/S&W)
- ・TOEIC Bridge®(L&R/S&W)

2. 楽 典 (50分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

4. 聴 音 (30分) 旋律聴音 (8小節程度)・・・各専攻共通1題および専攻別1題 和声聴音・・・・・・・大譜表による四声体和声(密集)、8小節程度



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

5. 副科実技 (ピアノ)

※すべて暗譜で演奏すること

- (1) 音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。
ハノン No. 39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノン No. 39 の場合は、速度は♩=76 程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72 程度以上とする。
- (2) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
- (3) 古典派ソナタより任意の1曲（第1楽章または終楽章。専攻別曲目記入票に楽章を明記すること。）
※作品番号、調性なども記入すること。

6. 専攻実技

- (1) 聴音：旋律（単旋律、二声および四声）の書き取り（四声は木管四重奏の録音による）
- (2) 全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱
- (3) 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い
- (4) スコアリーディング（2管編成程度の管弦楽曲）
- (5) 指揮実技
 - (イ) 2管編成程度の管弦楽曲の初見指揮（演奏は2台のピアノによる）
 - (ロ) ベートーヴェン：交響曲 第4番 変ロ長調 作品60（演奏は2台のピアノとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスによる）
 - (ハ) モーツァルト：歌劇『魔笛』序曲（演奏は2台のピアノによる）※（ロ）（ハ）は暗譜で演奏（指揮）すること。
- (6) 演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。声楽不可）
- (7) 和声（バス、ソプラノ課題「初級程度」1時間）
- (8) 小論文（1時間）
- (9) 口述試問